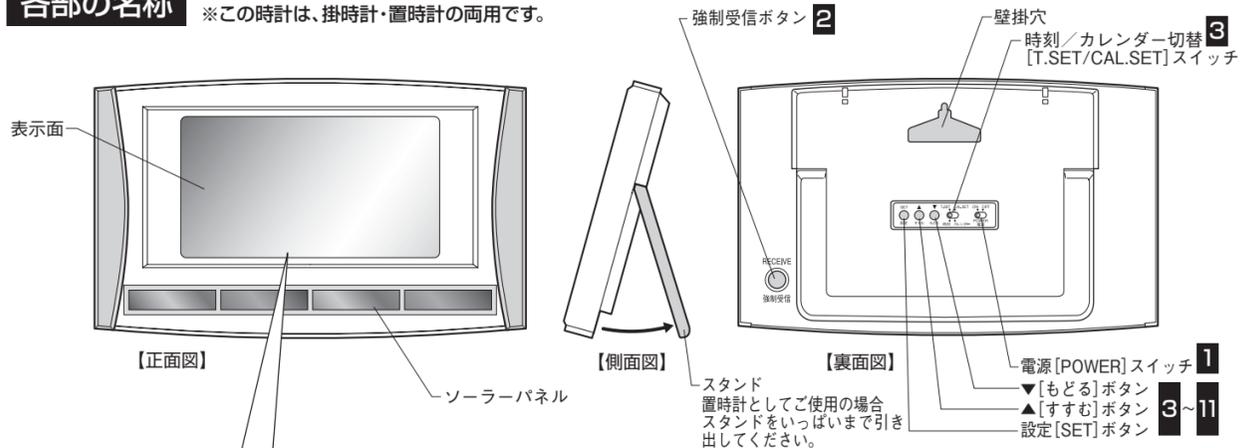


時計のご使用方法

各部の名称

※この時計は、掛時計・置時計の両用です。



<表示面詳細>

現在時刻表示
「時：分秒」 PM

電波受信マーク

年(西暦)
月[MONTH]/
日[DATE]
曜日[DAY]表示

●12/24時間表示切替: 12時間表示の場合のみ午前は「AM」、午後は「PM」と表示。

この時計はソーラーパネルにより発電し駆動しますので、なるべく明るい場所でご使用ください。150ルクス以上の明るさが1日当たり8時間以上あれば、時計は動き続けます。

●時計をお使いになる場所の明るさと時間の目安

照度(ルクス)	環境の目安	1日に必要な時間
150	一般のご家庭で、夜間、蛍光灯の光を真正面に受けた状態	8時間以上
700	明るいオフィス内	2時間以上

※長時間(1週間以上)ご使用場所が暗くなるような場合は、電源[POWER]スイッチをOFFにしてください。

1 電源を入れ電波を受信させる

- 時計裏面の「時刻/カレンダー切替」スイッチを「時刻」の位置にして、電源[POWER]スイッチをON(左側)にします。
- 表示が2秒間全点灯した後、標準電波の受信を開始します。
- 受信中は、表示面の左下に受信マーク()が点滅します。
- 受信に成功すると、受信OKマーク()が点灯し、現在時刻を表示します。※受信状態の悪いところでは約22分間受信をくりかえします。

■受信までのプロセス

受信開始 → 電波読取中 → 受信結果

電源スイッチをONにする(または、強制受信ボタンを押す) → (受信中は表示が変わります) → 受信成功 (マーク点灯) → 受信失敗 (マーク消灯)

2 受信を失敗した場合

窓ざわなどのできるだけ電波を受信しやすい場所に時計を持っていき、強制受信ボタンを押します。また、夜間は電波状態が良くなりますので、一晩中そのままにしておくこと受信できる可能性が高くなります。

※上記操作でも受信できなかった場合は、以下の「電波を受信できない場合」をご覧ください。

※電波を受信できない場合

●受信に成功した場合は、手動による操作は行なわないでください。受信に成功した状態で下記の操作を行なうと、誤表示の原因になります。

※電波受信中に手動による時刻合わせおよびカレンダー合わせを行うと、電波受信を中止します。

■手動による時刻の合わせ方

※この場合の精度は月差±30秒以内(クオーツ精度)になります。

※▲[すすむ]ボタンまたは▼[もどる]ボタンを押してつづけると時刻表示が早送りします。

3 「12/24時間表示」の選び方

※【時刻/カレンダー切替】スイッチを「時刻」に合わせます。

- 設定[SET]ボタンを1回押すと、12/24時間表示切替モードになります。
- ▲[すすむ]ボタンまたは▼[もどる]ボタンを押して12/24時間表示を選びます。

(受信成功後、12/24時間表示切替した場合は、設定[SET]ボタンを4回押して手動時刻合わせを終了し、強制受信ボタンを押して再受信させてください。)

4 「時」の合わせ方

- 「12/24時間」表示を選んだ後、設定[SET]ボタンを1回押すと、「時」表示が点滅します。
- ▲[すすむ]ボタンまたは▼[もどる]ボタンを押して時表示を合わせます。

5 「分」の合わせ方

- 「時」表示を合わせた後、設定[SET]ボタンを1回押すと、「分」表示が点滅します。
- ▲[すすむ]ボタンまたは▼[もどる]ボタンを押して分表示を合わせます。

6 「秒」の合わせ方

- 「分」表示を合わせた後、設定[SET]ボタンを1回押すと、「秒」表示が点滅します。
- ▲[すすむ]ボタンまたは▼[もどる]ボタンを押すと、00秒表示にリセットされ、押し続けている間00秒のまま止まっています。時報の0秒に合わせる場合は、0秒の時報とともにボタンを離してください。

7 通常表示に戻します

現在時刻合わせが完了したら、もう1回設定[SET]ボタンを押して、通常表示(表示が点滅していない状態)に戻してください。

※通常表示に戻さないと、強制受信および自動受信ができなくなります。

■手動によるカレンダーの合わせ方

※▲[すすむ]ボタンまたは▼[もどる]ボタンを押してつづけるとカレンダー表示が早送りします。

8 「年(西暦)」の合わせ方

※【時刻/カレンダー切替】スイッチを「カレンダー」に合わせます。

- 設定[SET]ボタンを1回押すと、年(西暦)表示が点滅します。
- ▲[すすむ]ボタンまたは▼[もどる]ボタンを押して、年(西暦)表示を合わせます。

9 月[MONTH]の合わせ方

- 「年(西暦)」表示を選んだ後、設定[SET]ボタンを1回押すと、月[MONTH]表示が点滅します。
- ▲[すすむ]ボタンまたは▼[もどる]ボタンを押して、月[MONTH]表示を合わせます。

10 日[DATE]、曜日[DAY]の合わせ方

- 「月」表示を選んだ後、設定[SET]ボタンを1回押すと、日[DATE]表示が点滅します。
- ▲[すすむ]ボタンまたは▼[もどる]ボタンを押して、日[DATE]表示を合わせます。
- 曜日[DAY]は自動設定されます。

11 通常表示に戻します

カレンダー合わせが完了したら、もう1回設定[SET]ボタンを押して、通常表示(表示が点滅していない状態)に戻してください。

※通常表示に戻さないと、強制受信および自動受信ができなくなります。

充電について

●充電方法

時計が止まったり、明るい場所で表示が正しく点灯しない場合は、充電電池の電気が不足しています。次の手順で正しく充電してください。

- 時計裏面の電源[POWER]スイッチをOFFにしてください。
- 蛍光灯の下などの明るい場所に置いてください。

⚠ 太陽光での充電は、絶対にしないでください。この電波時計は屋内専用です。直射日光を当てると、光発電の能力が低下したり、充電電池が破壊する原因となります。

光の明るさによって充電時間が異なります。

●充電時間の目安

照度(ルクス)	環境の目安	充電時間	
		10日動作分	フル充電
700	明るいオフィス内	約14時間	約180時間以上
1,000	20W蛍光灯1本より約45cmの位置	約10時間	約130時間以上

■時計の掛け方について

●付属の掛金具(木ねじ)を使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。

●掛金具(木ねじ)は下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

●上記以外の場所(石膏ボード、コンクリートなどの壁面)に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛金具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

時計の掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

●時計を掛けた時は、上下、左右に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。

Q & A

- Q 表示が全部表示されない。
- A 標準電波を受信できる環境にないことを表しています。対策 次のようなことを試してください。
- 窓の側など比較的電波の届きやすいところで試してみる。(場所により、電波の状態が変わります)
 - 朝夕および雨天など電波が弱まる時を避けて試してみる。(時間帯や天候によっても電波の状態が変わります)
- Q マークが消えた。
- A 標準電波を受信した後、24時間以上受信に成功しなかったことを意味します。もう1度受信すると復帰します。マークが消えてもクオーツ精度で時計は動いています。
- Q マークが後日表示された。
- A 最初はマークが表示されなくても、後に再受信に成功すると表示されます。
- Q 受信できてもテレビやラジオ、電話の時報サービスと一致しない。
- A まれに誤受信や時計の修正タイミングにより一致しないことがあります。対策
- 1秒くらいの進み、遅れの場合は、そのままでも後に自動修正されますが、すぐに修正したい時は強制受信ボタンを押してください。
 - 1秒を超える進み、遅れの場合は、電源[POWER]スイッチをONにし直し、操作をやり直してください。
- Q 今まで受信できていたのに、急に受信できなくなった。
- A 標準電波を送信している設備の定期点検や落雷などの影響で停波(送信停止)することがあります。停波に関する情報は「通信総合研究所」のホームページに掲載されます。ホームページアドレス <http://jyy.crl.go.jp>

製品仕様

時間精度	●標準電波の受信に成功している場合 表示精度：±1秒 ●標準電波を受信できなかった場合 平均月差：±30秒以内(常温中)
使用温度範囲	-10℃~+50℃(0℃~+40℃表示可読範囲)
補助電源	●ソーラーセル(光発電セル) : 薄膜太陽電池4個 ●内蔵充電電池 : ニッケル・水素蓄電池 ※フル充電後、暗所で使用した場合：約1ヵ月間駆動
機能	●時計機能 : 12時間(AM PM表示)/24時間表示切替式 ●カレンダー表示 : 西暦、月、日、曜日(英文3文字表示)表示範囲(2000~2097年)(うるう年は自動調整) ●自動電波受信 : 1日1回午前2時(最大22分間)(受信できなかった場合は、午前3時、午前4時、午前5時、午前6時まで毎正時に受信を試みます)

※0℃~+40℃の範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合がありますが、時計精度には影響ありません。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

パワーセーブ機能について

- この時計には、暗いところで使用する場合に、消費電力を最小限に維持するためのパワーセーブ機能が付いています。
- この時計を暗いところ(約10ルクス以下)で使用すると、時刻表示とカレンダー表示は自動的に消灯され、電波受信マークだけが点灯されます。
- この状態でも時計内部は作動し、正確な時間を維持します。明るくなると、自動的に時刻表示とカレンダー表示が点灯されます。